国立大学法人 長崎大学 NAGASAKI UNIVERSITY

FFG ふくおかフィナンシャルグループ

NFEC

国立大学法人長崎大学 研究開発推進機構

FFGアントレプレナーシップセンター

受講のための手引き2021

Study Guidance 2021

株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ 寄附講座

時代のうねりから次代の創造へ。

From the Social Upheaval of the Times,To the Creation of the Next Generation

長崎大学からあなたの創造性を発揮しよう!
失敗を恐れず、自ら考え行動できるアントレプレナーを目指そう!

From Nagasaki University,Realize Your Creativity and Aim to be an Entrepreneur!

長崎大学研究開発機構FFGアントレプレナーシップセンター（NFEC）は、2019年10月、長崎大学とふくおかフィナンシャルグループとの連携協定に基づき、アントレプレナーシップ教育の実施と大学発ベンチャー創出支援を目的とする寄附講座として、開設されたセンターです。

NFECは、第一に長崎大学の全学部生、全大学院生を対象として、体系的なアントレプレナーシップ教育・人材育成プログラムを実施することにより、先進的なイノベーション教育・研究の機会を提供し、自立心・向上心に溢れ、課題解決による新しい価値創造への意欲を持ったアントレプレナーの育成を目指します。

第二に、大学における研究開発成果である技術や知的財産の事業化・実用化を促進し、大学発ベンチャーの創出を支援することによって、新産業創造及び地域経済の発展に貢献することを目指します。

第三に、アントレプレナーシップ教育やベンチャー創出に関心持つ地域企業、地方公共団体、他大学・高専・高校等との交流・連携を通じて、地域全体のスタートアップエコシステム、イノベーションエコシステムの構築を目指します。



未来を見通すことが難しい時代を迎えた今こそ、あなた自身の創造性を発揮し、豊かな資源と歴史・文化の宝庫である長崎の地から、長崎大学に集積する様々な分野の知を活かしてイノベーション創出に挑戦する、アントレプレナーを目指してみませんか?

アントレプレナーシップや大学発ベンチャーにご関心のある皆さん、NFEC教育・人材育成プログラムの受講をお考えの皆さんは、まずは、お気軽にNFECへ足を運んでいただけたら幸いです。お会いできるのを楽しみにしています。

FFGアントレプレナーシップセンター
教員・スタッフ一同

長崎大学から新しい価値創造にチャレンジしよう!

学長メッセージ

Message from the President



President of Nagasaki University

Shigeru Kohno

長崎大学では、2020年1月、これからの新たな大学の在り方を目指して「プラネタリーヘルス」の実現という目標を掲げました。

21世紀を迎えた私たちの地球は、気候変動、環境汚染、食糧問題、格差、宗教や文化の対立、紛争といった大きな問題を抱えています。しかし、コロナ禍もあり、解決すべき課題の複雑化や事業環境の不透明感が増加している昨今において、本学としては、多面的な知の連鎖を誘発し、オープンイノベーションを積極的に推進していくことで、不確実な時代を乗り切っていく必要があると考えています。

そのような中、長崎大学全ての学部生・大学院生を対象として、先進的なイノベーション教育・研究の機会を提供することにより、自立心、向上心を有し、新しい価値創造にチャレンジし、自ら課題解決に取り組むことができる次世代のアントレプレナー人材を育成することを目的に、ふくおかフィナンシャルグループの寄附講座として、本学研究開発推進機構内に「FFGアントレプレナーシップセンター（NFEC）」が開設され、2020年4月から本格的に活動を開始しました。

コロナ禍という厳しい状況ではありましたが、「アントレプレナーシップ教育」と「大学発ベンチャー創出の支援」に懸命に取り組んでまいりました。

NFECの第一の使命は、新しい価値創造に挑戦し、課題解決に取り組む意欲をもったアントレプレナーシップ人材を育成することであり、既に、長崎大学で多くの学生や社会人履修生の皆さんがNFEC教育／人材育成プログラムに積極的に参加されています。NFECの第二の使命は、大学における研究開発の成果である技術シーズ（知的財産）のインキュベーション活動を通じて大学発ベンチャーの創出を支援し、ひいては新産業の創出及び地域経済の発展に貢献することであり、既に、長崎大学における技術シーズ（知的財産）の市場性評価や事業化検証が行われ、その成果の芽が出始めています。

このように、若い世代の斬新な発想を活かした従来の枠に捕われないアントレプレナー人材を育成し、大学発ベンチャー創出の支援を行っていくことは、AI（人工知能）やIoT、ビッグデータを活用したデータサイエンスの隆盛など、デジタル化への対応が我が国全体の課題であることからも、本学におけるNFECの開設はきわめて大きな意義があるといえます。今後、NFECをきっかけに、多くの学生が先進的なイノベーション教育・研究の機会を得ながら起業家精神を培い、地域の様々な課題に対する解決策を探り、長崎を起点とした新しい価値創造にチャレンジできるアントレプレナー人材が育っていくことを大いに期待しています。

積極的に新しいことにチャレンジしたい諸君。是非、NFECで先進的なイノベーション教育・研究を体験し、新しい価値創造にチャレンジしてみませんか。

長崎大学 学長 河野 茂

1.皆さん、NFECをご存じですか？

NFEC（Nagasaki University, FFG Entrepreneurship Center）は、長崎大学研究開発推進機構に開設された新しいセンターです

FFGアントレプレナーシップセンター（NFEC）は、2019年10月、株式会社ふくおかフィナンシャルグループ（FFG）の寄附講座として、長崎大学研究開発推進機構内に開設されました。NFECでは、次世代のアントレプレナー人材の育成を目指して、学部生・院生向け教育プログラム、社会人向け履修証明プログラム、研究者向けインキュベーションプログラムを提供していきます。

NFECは、「アントレプレナーシップ」を習得する機会を提供します

「機会を見つけて自ら考え行動し、失敗を恐れずチャレンジできる自分になりたい!」
「社会課題の解決に取り組んで、世の中に新しい価値を創り出したい!」
「起業に必要なスキルや知識を身につけて、将来ベンチャーに関わってみたい!」
「研究成果のテクノロジーを事業化して、社会に役立つビジネスを立ち上げたい!」
そんな夢や目標を持つあなたにとって、NFECでの学びや仲間との出会いが、自らの大きな飛躍のきっかけになるはずです。

学部生・院生は、NFECが実施する授業をだれでも受講できます

学部や研究科の枠を超えて、多様なバックグラウンドを持った仲間と共に学び、切磋琢磨する場を持つことは、あなたの視点、視野、視座を広げるチャンスになるでしょう。科目によっては、社会人の方と一緒に学び議論する機会も得られます。（履修登録または受講申込が必須となります。）

NFECの授業は、自ら積極的に学び、仲間と互いに学び合う場となります

NFECが提供する教育プログラムでは、座学だけでなく、受講生同士によるグループディスカッション、第一線で活躍されているゲスト講師によるご講演、ワークショップ、課題解決型学習（Project Based Learning）、ビデオ授業など、様々な講義手法を採用します。「受け身で答えを教わる」のではなく「自ら学び、仲間と互いに教え学び合う」体験ができます。

Overview

FFGアントレプレナーシップセンターの概要

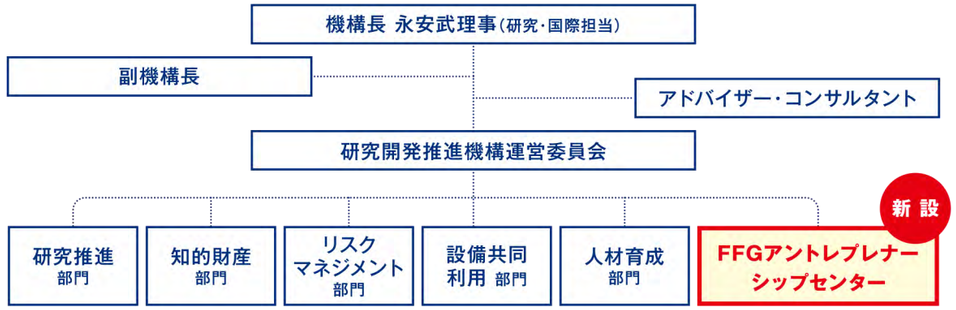
●名称
国立大学法人長崎大学 研究開発推進機構
FFGアントレプレナーシップセンター

●開設時期
2019年10月（2020年4月から教育プログラム開講）

●講座形式
株式会社ふくおかフィナンシャルグループ寄附講座

●履修対象者
長崎大学全学部の学部生・全学科の大学院生／
他大学学部生・高専生／他大学大学院生・社会人
（履修証明プログラム）

●組織図
FFGアントレプレナーシップセンターは長崎大学研究開発推進機構の一部門として新設されました。



Mission

FFGアントレプレナーシップセンターの使命

❶長崎大学の全ての学部生・大学院生を中心に、先進的なイノベーション教育・研究の機会を提供することにより、自立心、向上心を有し、新しい価値創造に挑戦し、課題解決に取り組む意欲を持ったアントレプレナー人材の育成を目指します。

❷大学における研究開発の成果である技術や知的財産のインキュベーションに取り組むことにより、大学発ベンチャーの創出を支援し、ひいては新産業の創出および地域経済の発展に貢献することを目指します。

Activities and Characteristics

FFGアントレプレナーシップセンターの活動内容・特色

❶長崎大学全ての学部生・大学院生を対象として、体系的なアントレプレナーシップ教育プログラムを実施することにより、先進的なイノベーション教育の機会を提供。

❷大学における研究開発の成果である技術・知財の事業化・実用化を促進し、
ベンチャー創出を支援するためのインキュベーションプログラムやセミナーを実施。

❸アントレプレナーシップ・イノベーションに関する研究およびそれらの教育手法に関する研究の実施。

❹アントレプレナーシップやベンチャー創出に関心を持つ長崎県内の他大学学部生、大学院生、高専生、社会人に対して、教育プログラムやインキュベーションプログラムへの参加機会を提供。

❺アントレプレナーシップやベンチャー創出に関心を持つ地域企業、地方公共団体、
他大学等に対する情報発信ならびに交流・連携の機会を提供。

2.NFECで何が学べるのか?

「アントレプレナーシップ」を身に付け、アントレプレナーに必須となる知識、スキル、マインドセットを習得できます

変化が激しく未来を見通すことが難しい毎日において、皆さん自身が機会を見つけて、様々な問題に対して新しい選択肢、解決方法、ビジネスなどを創り出すことによって、自分自身の価値を高めて夢や目標を実現したり、広く世の中に価値を提供することにチャレンジできます。そのチャレンジに必要な知識、スキル及びマインドセットを習得できるのがNFECです。

「アントレプレナーシップ」の意味とは?

今回、「アントレプレナーシップ」という言葉を始めて知った人もいるかもしれません。「企業家精神」「起業家精神」と翻訳されることが多く、「企業を興す人、起業する人が持つマインドセット（思考様式、価値観、信念）」という狭い解釈をされる場合もあります。しかし、NFECでは、欧米の学者による定義なども参考にしつつ「アントレプレナーシップ」を「様々な問題、予期せぬ変化、不確実な状況などに直面しても、それをチャンス（機会）と捉えて、失敗を恐れず新価値創造に向けて行動できるマインドセット」と解釈し、起業を目指す学生のみならず、失敗を恐れずにチャレンジする力をつけたい学生、自立心を持ってキャリアを開拓したい学生も広く支援していきます。

NFECが目指すアントレプレナー人材像とは?

◎自立心、向上心を有し、新しい価値創造に挑戦し、課題解決に取り組む意欲を持った人材

◎自らコントロールできない不確実な状況に面しても、変化を機会と捉えて活用できる人材

◎多面的な視野、視座、視点を持って課題を発見し、解決するアイデアを創造し可視化できる人材

◎研究開発の成果である技術を活かして、独創的な新事業コンセプトを創造できる人材

◎地域の課題に対する解決策を探り、長崎を起点とした新しい価値創造を行って地域経済の発展に貢献できる人材





3.NFEC教育・人材育成プログラムの特徴は?

特徴①：全学部の学部生、全研究科の大学院生が対象です

「NFEC教育・人材育成プログラム」は、長崎大学の全学部に属する学部生、全研究科に属する大学院生を対象とした教育プログラムであり、多面的な視野、視座、視点を持って社会課題を発見し、それらの課題を解決する新事業アイデアを創出し、地域に根差した新しい価値創造に貢献できるよう、受講生がアントレプレナーシップを身に着け、アントレプレナーに必須となるスキルや知識を習得することを目指すためのプログラムです。

特徴②：入門3科目、基礎2科目、応用4科目、実践2科目の4ステップの教育プログラムから構成され、合計11科目の授業が体系的に実施されます

「NFEC教育・人材育成プログラム」は、入門3科目、基礎2科目・応用4科目・実践2科目の4ステップ全11科目から構成される体系的な教育プログラムです。

◎入門プログラム（3科目）

学部生を対象とした教育教養科目である「アントレプレナーシップ入門」「アイデア創出・デザイン思考入門」「事業創造・スタートアップ入門」の3科目から構成されます。

◎基礎プログラム（2科目）

大学院生・社会人を対象とした科目である「アントレプレナー・ファイナンス論（経営管理特論）」「イノベーション論（イノベーション・技術戦略・知財戦略・出島戦略）」の2科目から構成されます。

◎応用プログラム（4科目）

大学院生・社会人を対象とした科目である「アントレプレナーシップ応用（ビジネスプラニング）」「技術マーケティング・顧客開発論」の2科目と、社会人を対象とした履修証明プログラム科目である「アイデア創出・デザイン思考演習」「技術マネジメント・組織論」の2科目、計4科目から構成されます。

◎実践プログラム（2科目）

社会人を対象とした履修証明プログラム科目である「先端技術事業化論1（AI／IOT／ブロックチェーン）」「先端技術事業化論2（デジタル×メディカル／ヘルスケア）」の2科目から構成されます。

特徴③：授業を受講し、一定の要件を満たした場合、NFECから科目毎に、受講完了証として「オープンバッジ」が発行されます

「オープンバッジ」とは、世界的な技術標準規格に準拠した、資格・スキル・能力等を示すデジタル証明書です。ブロックチェーン技術を取り入れているので、偽造、改ざんが困難な信頼のおける学習証明書の役割を果たします。NFEC教育・人材育成プログラムの授業を履修し、一定の要件を満たした場合、科目毎にNFECから「オープンバッジ」が授与されます。受講生は自分自身の「マイウォレット」をWEB上に持つことができ、マイウォレット内に受講した科目の「受講完了証」であるオープンバッジが表示されます。取得したオープンバッジを公開することもできますので、就職活動などで自分自身の学習履歴をアピールすることに活用できます。









4.NFEC教育・人材育成プログラムロード　マップ&スケジュール

※チャレンジイベントについてご関心・ご質問のある方は、NFECのWEBサイトまたはメールを通じて、直接お問い合わせください。

科目レベル	履修対象者	2021年度 前期			2021年度 後期	
		第1クォーター	第2クォーター	夏期集中	第3クォーター	第4クォーター
		4～6月	6～8月	8～9月	9～12月	12～2月
チャレンジイベント	アントレプレナー実践プログラム（学内）	「アントレプレナーシップ実践プログラム~Realize your Creativity!~」とは、NFEC教育プログラムで学習した内容に基づき、学生自ら企画・立案したプロジェクトに挑戦する実践プログラムです。長崎大学の学部生、院生を中心として構成される学生チームが、自ら企画・立案したプロジェクトテーマについて応募（5～6月）し、審査会（7月）の審査を経て採択されると、プロジェクトに対して活動推進費が助成されます。学生皆さんの若い感性と斬新な視点を活かして発想したアイデアを活かし企画・立案したプロジェクトを通じて、学生自らがアントレプレナーシップと創造性を発揮することを目的としたプログラムです。				
	長崎学生ビジネスプランコンテスト2021	「長崎学生ビジネスプランコンテスト2021」とは、起業を目指す、または既に起業している長崎県内の大学生、高専生、大学院生、留学生などを対象としたビジネスプランコンテストです。大学や高専などの技術シーズを活用したビジネス、社会課題を解決するビジネスアイデア、食や農業、観光、海洋、水産などの地域の特色を活かしたビジネスアイデアなどについて応募（6~7月）し、教育プログラム（7~8月）に参加してアイデアをブラッシュアップした後、コンテスト（9月）に挑戦することができます。				
	九州・大学発ビジネスプランコンテスト	「九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト」とは、起業を目指す、または既に起業している九州内の大学生、院生、研究者、留学生、高専生、短大生、専門学校生等を対象として、学内の技術シーズを活用した事業や社会の課題解決アイデア、食や農業、観光海洋、水産などの九州の特色を活かした事業などを応募（7月~9月）し、1次審査（10月）、2次プレゼン審査（11月）を経て、勝ち残ると最終プレゼン審査（12月）に挑戦することができます。ここで入賞すると、賞金が授与され、ビジネスコンテストの全国大会に挑戦する権利を得ることができます。				
実践プログラム科目	社会人対象					◆先端技術事業化論２ 1/16（日）2～5時限　1/22（土）2～5時限 ◆先端技術事業化論１ （AI/IOT/ブロックチェーン） 12/18（土）2～5時限　12/19（日）2～5時限
応用プログラム科目	社会人・大学院生対象		◆アイデア創出・デザイン思考演習 6/5（土）2～5時限　6/6（日）2～5時限		◆技術マネジメント・組織論 11/27（土）2～5時限　12/5（日）2～5時限 ●◆アントレプレナーシップ応用 （ビジネスプラニング） 9/29～11/24 毎週水曜6時限	
基礎プログラム科目			●◆イノベーション論 （イノベーション・技術戦略・知財戦略・出島戦略） 6/11～7/30 毎週金曜6時限	●◆技術マーケティング・顧客開発論 9/25（土）2～5時限　9/26（日）2～5時限 ●◆アントレプレナー・ファイナンス論 8/6（金）・8/10（火）5・6時限　8/7（土）2～5時限		
入門プログラム科目	学部生対象	 ★アントレプレナーシップ入門 4/14～6/9 毎週水曜5・6時限	★アイデア創出・デザイン思考入門 6/16～8/4 毎週水曜5・6時限		★事業創造・スタートアップ入門 9/29～11/24 毎週水曜5・6時限	
		第1クォーター（4～6月）	第2クォーター（6～8月）	夏期集中（8～9月）	第3クォーター（9～12月）	第4クォーター（12～2月）

5.2021年度 FFGアントレプレナーシップ教育　・人材育成プログラム科目一覧および概要

対　象			科　目	担当教員・講師	日　程	開講時期	時　間	場　所	科目概要
学部生対象			入門プログラム科目 ★アントレプレナーシップ入門	上條由紀子 山下淳司 （ゲスト講師招聘）	4/14・21・28 5/12・19・26 6/2・6/9（水）	第1クォーター	水曜5・6時限 （16:10～19:20） ※最終回は5時限のみ 〈全15コマ〉	文　教	本授業では、アントレプレナーシップの基礎を学習します。変化が激しく不確実性の高い現代において、自立心、向上心を持って課題解決に取り組み、新しい価値創造にチャレンジできるアントレプレナーが必要とされています。本授業では、自分自身のキャリア構築につなげる視点を持ちながら、アントレプレナーに必要なマインドセット（アントレプレナーシップ）や必要なスキルについて学習します。また、ベンチャー、大企業、官公庁など実社会の様々な現場で活躍されている実務家の方々を招き、社会課題解決及び新価値創造への取り組みとアントレプレナーシップの重要性について学習します。
			入門プログラム科目 ★アイデア創出・デザイン思考入門	上條由紀子 山下淳司 （ゲスト講師招聘）	6/16・23・30 7/7・14・21・28 8/4（水）	第2クォーター	水曜5・6時限 （16:10～19:20） ※最終回は5時限のみ 〈全15コマ〉	文　教	本授業では、「問いの立て方」、「アイデアを創出する技術（創造技法）」、「ファンクショナル・アプローチ」及び「デザイン思考」を学習します。これらは、多面的な視野・視座・視点を持ちながら問題を発見し、それらを解決するアイデアを考案してイノベーション創出につなげるために必要な入門スキルです。本授業では「問いの立て方」として、いい問いとは何かを考えることを通じて、いい問いの立て方について学びます。そして、「アイデアを創出する技術」として問題発見、アイデア発想、アイデア発展の基礎的手法を学習します。次に、問題解決へ取り組む際、ファンクション（機能・効用・役割・意図・目的・狙い等）に置き換えてから解決する革新的技術である「ファンクショナル・アプローチ」を学びます。最後に、顧客視点・ユーザー視点で対話を重視した問題解決手法である「デザイン思考」の基礎について学習します。なお、本授業では講義と演習（グループワーク）を組み合わせて実施します。
			入門プログラム科目 ★事業創造・スタートアップ入門	上條由紀子 山下淳司 （ゲスト講師招聘）	9/29 10/6・13・ 20・27 11/10・17・24（水）	第3クォーター	水曜5・6時限 （16:10～19:20） ※最終回は5時限のみ 〈全15コマ〉	文　教	本授業では、イノベーション、即ち、社会に新しい価値を創造する担い手である「スタートアップ」と呼ばれる企業を立ち上げるために必要なスキル、知識、マインドセットについて学習します。具体的には「スタートアップとは何か？」「社会に新しい価値を提供するためのビジネス（事業）とは？」「スタートアップに必要なチームとは？」「ビジネス（事業）に必要な資金をどのように集めるのか？」「ビジネスモデルやビジネスプランとは？」「スタートアップと市場」などのテーマについて学びます。また、新しい事業を創造し、社会価値を生み出すことに挑戦されている起業家や経営者をお招きし、実際のビジネスについてご紹介頂き、スタートアップによるイノベーション創出の意義についてお話いただきます。
（希望により学部生聴講可能）	大学院生対象	社会人対象	基礎プログラム科目 ●◆イノベーション論 （イノベーション・技術戦略・ 知財戦略・出島戦略）	松橋俊彦	6/11・18・25・ 7/2・9・16・23・ 30（水）	第2クォーター	水曜6時限 （17:50～19:20） 〈全8コマ〉	文　教	本授業では、起業や新規事業立上げに取り組む実践人材（アントレプレナー）が知っておくべき、イノベーションや技術経営を行うために必要な知識（概念・考え方）を学習します。特に、研究開発の成果である技術シーズに基づいて、企業や新規事業立上げを行うに当たり、必要となるマネジメントの基礎知識（知的財産戦略、技術戦略、出島戦略など）やオープンイノベーション手法の学習に重点を置きます。また, 大学の研究開発成果である技術シーズの事業化・商業化可能性について、市場・顧客視点から、具体的な技術シーズに基づき評価を行う「テクノロジーアセスメント」手法について、チーム演習を通じて学習していきます。本授業では、講義と演習（グループワーク）を組み合わせて実施します。
			基礎プログラム科目 ●◆アントレプレナー・ ファイナンス論（経営管理特論）	山下淳司 上條由紀子 （ゲスト講師招聘）	8/6（金） 8/7（土） 8/10（火）	夏期集中 講義	8/6（金）8/10（火） 5～6時限（16:10～19:20） 8/7（土） 2～5時限（10:30～17:40） 〈全8コマ〉	文　教	本授業では、起業や新規事業立上げに取り組む実践人材（アントレプレナー）が知っておくべき、ファイナンスの知識、主として財務・会計の基礎、資金調達方法、ビジネスプランの作成方法、出口戦略等から、リスク管理に必要となる契約・法務の知識、知的財産に関する知識まで、スタートアップの設立や経営に必要となる知識やスキルについて学習します。講義と演習（グループワーク）を組み合わせて実施します。
			応用プログラム科目 ●◆技術マーケティング・ 顧客開発論	土屋 有	9/25（土） 9/26（日）	夏期集中 講義	2～5時限 （10:30～17:40） 〈全8コマ〉	文　教	本授業では、具体的な事例を用いながらアントレプレナーが顧客ニーズに応じた製品・サービスを開発し顧客に価値を提供するために、知っておくべきマーケティングの基礎知識及び手法について学習します。特に、技術のマーケティングについても理解を深めます。また、スタートアップやベンチャーが陥りやすい「顧客が欲しがらない、売れない製品・サービスを市場に出してしまう」失敗を回避するため、研究開発の初期段階から顧客を相手に仮説検証を繰り返し、実現可能なビジネスモデルを探索する「顧客開発モデル」について基礎的な手法を学習します。
			応用プログラム科目 ●◆アントレプレナーシップ応用 （ビジネスプラニング）	山口泰久	9/29・ 10/6・13・20・27・ 11/10・17・24（水）	第3クォーター	水曜6時限 （17:50～19:20） 〈全8コマ〉	文　教	本授業では、起業や新規事業立上げの実践に必要となるアントレプレナーシップ（企業家精神）及びビジネスプラニングの手法を学習します。具体的には、演習（ワークショップ）形式で、顧客課題の設定、課題解決方法を明確化し、特許・技術評価、市場調査などを行い、顧客のニーズに対応した新価値を創造し提供するビジネスプランの作成を学びます。その際、様々な事業化手法やツール（ビジネスモデルキャンバス、デザイン思考等）を学び、それらを実際に使用してチーム形式でビジネスプラン作成演習に取り組みます。
	（希望により大学院生聴講可能）		応用プログラム科目 ◆アイデア創出・デザイン思考演習	上條由紀子 （ゲスト講師招聘）	6/5（土） 6/6（日）	第1クォーター 集中講義	2～5時限 （10:30～17:40） 〈全8コマ〉	文　教	本授業では、「アイデアを創出する技術」、及び「デザイン思考」について演習を通じて学習します。「アイデアを創出する技術」として問題発見、アイデア発想、アイデア発展の手法を学習します。さらに、顧客視点・ユーザー視点で対話を重視した問題解決手法である「デザイン思考」について具体的なテーマを題材としてチーム形式で演習に取り組み、実務に役立つ実践的な「デザイン思考」のアプローチやプロセスを習得します。
			応用プログラム科目 ◆技術マネジメント・組織論	上條由紀子 （ゲスト講師招聘）	11/27（土） 12/5（日）	第3クォーター 集中講義	2～5時限 （10:30～17:40） 〈全8コマ〉	文　教	本授業では、研究開発成果である技術に基づき製品開発を行い、事業に結びつけて経済的な価値を生み出すため、経営資源である技術を戦略的に活用する、技術マネジメントの手法について学習します。また、研究開発成果である技術を事業化するために大学と産業界とが連携する手法（産学連携）についても学びます。さらに、起業や新規事業立上げにおいて、人材を集めチーム・組織を構築・運営していくことの重要性について学び、そのためのマネジメント手法について学習します。
			実践プログラム科目 ◆先端技術事業化論1 （AI/IOT/ブロックチェーン）	上條由紀子 山下淳司 （ゲスト講師招聘）	12/18（土） 12/19（日）	第4クォーター 集中講義	2～5時限 （10:30～17:40） 〈全8コマ〉	文　教	本授業では、人工知能（AI）分野、IOT分野、ブロックチェーン分野などの先端技術とその活用について最新動向を学習し、それらの先端技術分野における国内外の事業化事例について、実際に当該分野で起業したり新規事業立案に挑戦している起業家・実務家の方をお招きし、ご講演を通じて学習します。
			実践プログラム科目 ◆先端技術事業化論2 （デジタル×メディカル/ヘルスケア）	上條由紀子 山下淳司 （ゲスト講師招聘）	1/16（日） 1/22（土）	第4クォーター 集中講義	2～5時限 （10:30～17:40） 〈全8コマ〉	坂本1 （予定）	本授業では、メディカル分野、ヘルスケア分野、食・農業分野などの先端技術とデジタル分野の先端技術との融合及びその活用について最新動向を学習し、それらの先端技術融合分野における国内外の事業化事例について、実際に当該分野で起業したり新規事業立案に挑戦している起業家・実務家の方をお招きし、ご講演を通じて学習します。

★学部生対象科目（学部生：履修登録により単位取得可能）
●大学院生及び社会人対象科目（大学院生：履修登録により単位取得可能　社会人：履修証明プログラム申込により受講可能　学部生：希望により聴講可能）
◆社会人対象科目（社会人：履修証明プログラム申込により受講可能　大学院生・学部生：希望により聴講可能）※履修者人数によっては、聴講が認められない場合もありますのでご注意ください。
※日程、開講時期、時間などの最新情報は、NFECのWEBサイトを参照してください。http//www.nfec.nagasaki-u.ac.jp

6.NFEC教育・人材育成プログラム教員紹介

専任教員



長崎大学FFG
アントレプレナーシップセンター
センター長・教授

山下 淳司

専門分野

ベンチャーファイナンス・
国際ビジネス

担当科目

アントレプレナー・
ファイナンス論（経営管理特論）

皆さんはVUCAという言葉をご存知ですか？VUCAとはVolatility（変動性・不安定さ）、Uncertainty（不確実性・不確定さ）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性・不明確さ）という4つのキーワードの頭文字から取った言葉で、現代における個人のキャリアや経営環境を取り巻く状況を表現するキーワードとして使われています。
現在、我々はコロナ禍に加え、テクノロジーの大幅な進化により、社会やビジネスの不確実性や複雑性がこれまで以上大きくなる等ますます先行きが不透明な時代を生きています。このような不確実な時代を乗り切って、地域経済の発展に貢献できる人材を育成するために、FFGアントレプレナーシップセンター（NFEC）は設立されました。
NFECでは、アントレプレナーシップを身に着けるための様々な講義を展開していますが、私の担当するアントレプレナーシップ・ファイナンスでは、起業やプロジェクト組成における様々な意思決定の際に必要とする「資金」をいかに獲得していくかについて学ぶことができます。ファイナンスとは「企業の価値を最大化するために行う活動」であると言えますが、これはすべての業務に結びつく概念です。ファイナンスはビジネスを長期的に考える視点を提供してくれることから、答えの見えない不確実な時代を生きる皆さんにとって必要不可欠なものだと考えます。
長崎大学の学生そして研究者の皆さま、社会人向け履修証明プログラムの履修もお考えの皆さま、是非「FFGアントレプレナーシップセンター」において、先進的でイノベーティブな刺激溢れるアントレプレナーシップ教育や研究に触れてみませんか？



教授・弁理士

上條 由紀子

専門分野

知財マネジメント
技術経営・産学連携
アントレプレナーシップ

担当科目

アントレプレナーシップ入門
アイデア創出・デザイン思考入門
事業創造・スタートアップ入門
アイデア創出・デザイン思考演習
技術マネジメント・組織論
先端技術事業化論1・2

2020年は、コロナ禍が全世界の人々の考え方から行動様式、企業の経営戦略から国の政策に至るまで、全てを変えたといっても過言ではない一年でした。そのような中、2020年4月にFFGアントレプレナーシップセンター（NFEC）は「アントレプレナーシップ（企業家精神）」を皆さんに習得していただく機会を提供するため、教育／人材育成プログラムを開始いたしました。NFECでは「アントレプレナーシップ」を「様々な問題、予期せぬ変化、不確実な状況に直面しても、それをチャンス（機会）と捉えて、失敗を恐れずに新価値の創造に向けて行動できるマインドセット」と解釈しています。長崎大学の学生の皆さんにとって、この一年は、大学で授業を受け、友達と語らい、勉学・研究に励み、サークル活動を充実させるという当たり前の大学生活を過ごせず、辛い毎日だったと思います。また、受験生の皆さんにとっても、無事に入学試験が実施されるのか、自分が病気をせずに受験生活を乗り越えられるか、不安と隣り合わせの日々を過ごされたことでしょう。その閉塞感は、社会人の皆さまにとってさらに深刻だったはずです。しかしながら、NFECの遠隔授業を受講したり、ラウンジNOVEの構築に尽力くださった学生さん達や社会人履修生の皆さまは、明るく前向きに目標を定め、自分の夢や将来の選択肢を模索し、日々行動することによって、チャレンジし続ける姿勢を止めませんでした。この一年を通じて、むしろ教員の私が「明るく前向きな姿勢」と「不安に負けず挑戦する勇気」を、皆さまから学んだのだと感じています。長崎大学の学生、研究者の皆さま、社会人向け履修証明プログラムの履修をお考えの皆さま、未来を見通すことが難しい今だからこそ、多くの資源と歴史・文化の宝庫である長崎の地から、長崎大学に集積した様々な分野の知を活かして、イノベーション（社会への新しい価値創造）創出に挑戦してみませんか。NFECは、そんな皆さまを支援すべく「アントレプレナーシップ」のマインドセット、社会への新しい価値創造の手段の1つであるビジネス（事業）の立ち上げ方やそのために必要となる知識やスキルを提供していきます。新年度、皆さまにお会いできる日を今から楽しみにしております。

非常勤講師



国立大学法人宮崎大学
地域資源創成学部講師

土屋 有

担当科目

技術マーケティング・
顧客開発論

大事なことは「腹落ち（ハラオチ）」です。自らのビジョンと顧客・市場と向き合い「商品・サービス」を開発し、選ばれ、そしてリターンを獲得する。相手だけでなく、自らそしてステークホルダーに理解・納得・共感され支援される手段としての理論と実践知をバランス良く獲得していただくことを目標としています。
起業したい方、起業している方だけの講義か？それはYESであり、NOです。究極の商品・サービスは「あなた自身」です。学生の皆さんは、すでにご自身の人生の経営者として起業しているとも言えます。マーケティングは売り込むのではなく、選ばれるための理論であり、自分の可能性を自分でコントロールするための手法を手に入れてください。
本講義を通して、研究シーズはもちろん、好きなこと、得意なこと、夢中になる力などを「資源」とし、ご自身で創る・手に入れる未来にワクワクしたい方に受講していただきたい。もちろん、起業家・事業家の方に対して推進力となる講義とするため、ぜひご自身の具体的な課題を持ち込んでいただきたいと思っています。



国立研究開発法人情報通信研究機構
脳情報通信融合研究センター企画室
マネージャー

松橋 俊彦

担当科目

イノベーション論（イノベーション・
技術戦略・知財戦略・出島戦略）

私が担当する「イノベーション論」は、大学が保有する技術を基に、技術商業化の評価を行うツールである「テクノロジーアセスメント」を実践します。調査会社のデータを用いたセカンダリーリサーチではわからないことが多く、想定顧客に直接インタビューする等のプライマリーリサーチは、技術の商業化・事業化にとっては非常に重要です。
本授業では、こうした手法を用いて、「テクノロジーアセスメント」をチーム形式で実際に取組んでもらい、研究成果の商業化プロセスの全体像を学習します。さらに、アクティブラーニングによる実践スキルやチームでワークを完成させる際のチームマネジメントについても、学びを得る場になるでしょう。本授業のベースとなったプログラムは、アメリカのボストン大学で行われていた実践的プログラムであり、開催初年度に、私自身が現地で受講してきました。とてもエキサイティングな授業で、皆様にも、その一部をお伝えできればと思います。
研究成果の商業化プロセスを具体的に学習したい学生、研究者、新規事業担当者、起業家、技術移転担当者など、学生のみならず社会人の皆さんも、「イノベーション論」の受講をお待ちしています。



株式会社
FFGベンチャービジネスパートナーズ
副社長

山口 泰久

担当科目

アントレプレナーシップ応用
（ビジネスプランニング）

「アントレプレナーシップ応用」では、起業や新規事業立上げを真剣に考えている皆さんの参加を歓迎致します。本授業では、起業や新規事業立上げの実践に必要となるアントレプレナーシップとビジネスモデル開発やビジネスプラニングの手法を、チーム形式でPBL方式で実践的に学習します。NFECが最も重要と考えていることは、学生の皆さんに創業体験（そんなに難しくありません）をしてもらうことです。皆さんが重要と思い、かつ、社会ニーズがある課題について、何らかの解決方法を考えついていたら、創業を考えるべきです。「実際にそのアイデアで事業化できるのか?」「ビジネスモデル開発をどうするのか?」「資金調達のためのビジネスプランをどうやって作成するのか?」といったテーマで、ビジネスに直結する考え方や手法を会得することが本授業の目標です。本授業で得た知識や経験は、創業時のみならず、企業に入った場合においても、新規事業創出が課題となっているため大変に役立ちます。「アイデア創出・デザイン思考演習」や「イノベーション論」の科目と関連する内容ですので、他の応用プログラム3科目と併せて受講することをお薦めします。では皆さん、授業でお会いしましょう。

7.NFEC教育・人材育成プログラム
ゲスト講師陣紹介（2020年度実績・五十音順）



アイデアプラント 代表
石井 力重 氏

担当科目／アイデア創出・デザイン思考入門



株式会社メトセラ代表取締役
慶應義塾大学特任教授
岩宮 貴紘 氏

担当科目／先端技術事業化論２
（デジタル×メディカル/ヘルスケア）



日本環境設計株式会社 JEPLAN, INC. 取締役会長
岩元 美智彦 氏

担当科目／キャリア入門（キャリアセンター科目）



Blue Empathy 代表プランナー
大塚 智子 氏

担当科目／アイデア創出・デザイン思考入門



エスファクトリー代表　筑波大学国際産学連携本部 准教授
一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ 副代表理事
尾﨑 典明 氏

担当科目／技術マネジメント・組織論



Co-founder of Cryptoeconomics Lab
落合 渉悟 氏

担当科目／先端技術事業化論１
（AI/IOT/ブロックチェーン）



株式会社Cryptoeconomics Lab 代表取締役社長
片岡 拓 氏

担当科目／先端技術事業化論１
（AI/IOT/ブロックチェーン）



デジタルハリウッド大学大学院客員教授／
アイリス株式会社共同創業・取締役副社長CSO／
京都府立医科大学眼科学教室医師
加藤 浩晃 氏

担当科目／先端技術事業化論２（デジタル×メディカル／ヘルスケア）



たべものCo.／いきものCo. 代表
プラネット・テーブル株式会社創業者
菊池 紳 氏

担当科目／アントレプレナーシップ入門
先端技術事業化論１（AI/IOT/ブロックチェーン）



株式会社iNTO（イントゥ）代表取締役
◎観光庁事業 登録専門家　◎日経クロスウーマンアンバサダー
◎早稲田インバウンド・ビジネス戦略研究会メンバー
◎株式会社早稲田大学アカデミックソリューション受託事業 客員研究員
小松﨑 友子 氏

担当科目／アントレプレナーシップ入門



㈱AI Samurai 代表取締役社長 CEO
白坂 一 氏

担当科目／先端技術事業化論１
（AI/IOT/ブロックチェーン）



国立大学法人東京工業大学環境・
社会理工学院准教授 博士（理学）
仙石 慎太郎 氏

担当科目／先端技術事業化論２
（デジタル×メディカル/ヘルスケア）



金沢工業大学 大学院イノベーションマネジメント
研究科・教授、博士（工学）
高橋 真木子 氏

担当科目／技術マネジメント・組織論



ドコモ・ヘルスケア株式会社 代表取締役社長
竹林 一 氏

担当科目／アントレプレナーシップ入門



株式会社ユニコーンファーム CEO　「起業の科学」著者
田所 雅之 氏

担当科目／アントレプレナーシップ入門
Social entrepreneurship 社会企業論
（熱帯医学・グローバルヘルス研究科科目）



FFGベンチャービジネスパートナーズ
シニアマネージャー
長 秀俊 氏

担当科目／アントレプレナー・ファイナンス論



株式会社カケハシ 代表取締役社長
中尾 豊 氏

担当科目／先端技術事業化論２
（デジタル×メディカル/ヘルスケア）



一般社団法人Eirene University
アイリーニ・マネジメント・スクール 非常勤講師
中澤 雄一郎 氏

担当科目／アイデア創出・デザイン思考演習



株式会社NTTe-Sports 取締役
中島 賢一 氏

担当科目／先端技術事業化論１
（AI/IOT/ブロックチェーン）



株式会社イグアス CEO
中村 あきら 氏

担当科目／技術マネジメント・組織論



NPO法人インビジブル 理事長
女子美術大学非常勤講師
林 暁甫 氏

担当科目／アントレプレナーシップ入門



株式会社YOUI 代表取締役
原口 唯 氏

担当科目／アントレプレナーシップ入門



早稲田大学ビジネススクール・准教授
樋原 伸彦 氏

担当科目／アントレプレナー・ファイナンス論



一般財団法人SFCフォーラム 事務局長
廣川 克也 氏

担当科目／技術マネジメント・組織論



東北大学 経済学研究科 教授
福嶋 路 氏

担当科目／技術マネジメント・組織論



プレモパートナー株式会社 共同創業者&取締役CSO
前田 祐二郎 氏

担当科目／先端技術事業化セミナー&ワークショップ



早稲田大学ビジネススクール准教授
牧 兼充 氏

担当科目／Social entrepreneurship 社会企業論
（熱帯医学・グローバルヘルス研究科科目）



株式会社レボーン 代表取締役
松岡 広明 氏

担当科目／先端技術事業化論1
（AI/IOT/ブロックチェーン）



合同会社SARR代表執行社員／医学博士／
DigitalPlatformer株式会社 取締役CSO
松田 一敬 氏

担当科目／先端技術事業化論２
（デジタル×メディカル/ヘルスケア）



長崎県 企画部 政策監（次世代情報化推進担当）
産業労働部 政策監（新産業振興担当）
三上 建治 氏

担当科目／アントレプレナーシップ入門
先端技術事業化論１（AI/IOT/ブロックチェーン）



NTTアドバンステクノロジ株式会社
マーケティング部門部門長
三宅 泰世 氏

担当科目／アイデア創出・デザイン思考入門



株式会社54 代表取締役社長
山口 豪志 氏

担当科目／キャリア入門（キャリアセンター科目）



Medii株式会社 代表取締役 医師／
CEOリウマチ膠原病専門医
山田 祐揮 氏

担当科目／先端技術事業化論２
（デジタル×メディカル/ヘルスケア）



KAICO株式会社 代表取締役社長
大和 建太 氏

担当科目／先端技術事業化論２
（デジタル×メディカル/ヘルスケア）



ビジネスモデルイノベーション協会 代表理事
山本 伸 氏

担当科目／Social entrepreneurship 社会企業論
（熱帯医学・グローバルヘルス研究科科目）



株式会社ファンクショナル・アプローチ研究所
代表取締役社長
横田 尚哉 氏

担当科目／アイデア創出・デザイン思考入門

※2021年度のゲスト講師は2020年度から変更となる可能性があります。

8.NFEC教育プログラムを受講するには？

全学部生・院生向け

◆学部生の場合（全学部・全学年対象）

学部生（全学部1～4年生）が履修登録して単位修得が可能な科目は、入門プログラム科目「★アントレプレナーシップ入門（第1Q)」「★アイデア創出・デザイン思考入門（第2Q)」及び「★事業創造・スタートアップ入門（第3Q)」の3科目です。この3科目は教養教育・自由選択科目に該当します。履修を希望する学部生は所定の履修登録期間内にNU-Webシステムから登録してください。また、学部生が大学院生対象科目、社会人対象科目の聴講を希望する場合は、NFECのWEBサイトまたはメールにて直接NFECにお問い合わせください。

◆工学研究科博士前期課程総合工学専攻の大学院生の場合

工学研究科博士前期課程総合工学専攻の大学院生が履修登録して単位修得が可能な科目は、基礎プログラム科目の「●アントレプレナー・ファイナンス論（経営管理特論）（夏期集中）」「●イノベーション論（イノベーション・技術戦略・知財戦略・出島戦略）（第2Q）」の2科目と、応用プログラム科目の「●アントレプレナーシップ応用（ビジネスプラニング）（第3Q）」「●技術マーケティング・顧客開発論（夏期集中）」の2科目です。これら4科目は工学研究科の「技術者・研究者実践科目」に該当します。履修を希望する大学院生は、所定の履修登録期間内にNU-Webシステムから登録を必ず行ってください。

◆経済学研究科博士前期課程経営学修士（MBA）コースの大学院生の場合

経済学研究科博士前期課程経営学修士（MBA)コースの大学院生が履修登録して単位取得が可能な科目は、基礎プログラム科目の「●イノベーション論（イノベーション・技術戦略・知財戦略・出島戦略）（第2Q）」の1科目と、応用プログラム科目の「●アントレプレナーシップ応用（ビジネスプラニング）（第3Q）」「●技術マーケティング・顧客開発論（夏期集中）」の2科目です。これら3科目について履修を希望する大学院生は、所定の履修登録期間内にNU-Webシステムから登録を必ず行ってください。

◆上記以外の研究科大学院生の場合

上記以外の研究科に所属する大学院生も、NFEC教育プログラムの大学院生対象科目を受講することが可能です。基礎プログラム科目の「●アントレプレナー・ファイナンス論（経営管理特論）（夏期集中）」「●イノベーション論（イノベーション•技術戦略・知財戦略・出島戦略）（第2Q）」、応用プログラム科目の「●アントレプレナーシップ応用（ビジネスプラニング）（第3Q）」「●技術マーケティング・顧客開発論（夏期集中）」の4科目について、履修して単位取得を希望する場合は、指導教員の了解及び授業担当教員(NFEC教員）の内諾を得た上で、「他研究科授業科目履修願」を各期の定められた期日までに、所属する研究科の事務部学務担当に提出してください。所属する研究科と工学研究科との協議後、所属する研究科の教務委員会で認められると履修登録が可能になります。不明な点がある場合は、NFECのWEBサイトまたはメールにて直接NFECにお問い合わせください。

◆大学院生が社会人対象科目の受講を希望する場合

大学院生が社会人対象科目である「◆アイデア創出・デザイン思考演習（第2Q集中）」「◆技術マネジメント・組織論（第3Q集中）」「◆先端技術事業化論1（AI/IOT/ブロックチェーン）（第4Q集中）」「◆先端技術事業化論2（デジタル×メディカル/ヘルスケア）（第4Q集中）」の受講を希望する場合は、NFECのWEBサイトまたはメールにて直接NFECにお問い合わせの上、聴講申込をされてください。

◆その他

NFEC教育プログラム科目の受講方法、履修登録などについて不明な点がある場合は、NFECのWEBサイト、メールまたは電話にて直接NFECにお問い合わせください。どの科目を受講したらよいか相談したい場合は、NFECに事前に連絡の上、学習面談を予約してください。

◆NFECのWEBサイト
http://www.nfec.nagasaki-u.ac.jp

◆NFECのメールアドレス
ffgentre@ml.nagasaki-u.ac.jp

9.目的別のおすすめ科目・おすすめ履修モデルは？

◆目的別のおすすめ科目

1）アントレプレナーシップとは何かを学びたい、自分のキャリアについて考えみたい
自分の夢や目標に向かってチャレンジし実現する考え方や行動の仕方を学びたい
➡アントレプレナーシップ入門（入門プログラム）

2）問いの立て方、新しいアイデアの創り方、アイデアを具体化させるスキルを身に付けたい
➡アイデア創出・デザイン思考入門（入門プログラム）　➡アイデア創出・デザイン思考演習（応用プログラム）

3）会社を起こして新しい事業（ビジネス）を成長させたい、ビジネスプランの立て方や資金調達の方法を知りたい
➡事業創造・スタートアップ入門（入門プログラム）
➡アントレプレナー・ファイナンス論（経営管理特論）（基礎プログラム）
➡アントレプレナーシップ応用（応用プログラム）

4）研究開発成果である技術シーズの事業化をする方法を知りたい、技術シーズの事業化のためのビジネスプランを作りたい
➡イノベーション論（基礎プログラム）　➡アントレプレナーシップ応用（応用プログラム）

5）マーケティングについて学びたい、顧客開発モデルについて理解したい
➡事業創造・スタートアップ入門（入門プログラム）
➡技術マーケティング・顧客開発論（応用プログラム）

6）スタートアップやベンチャーにとって大切なチーム作りや組織体制について学びたい
➡技術マネジメント・組織論（応用プログラム）

7）技術を起点とした新しい価値創造（イノベーション）について学びたい、技術経営について学びたい
➡イノベーション論（基礎プログラム）

8）最先端の技術分野における事業化、ベンチャー立ち上げの事例について知りたい
➡先端技術事業化論1（AI/IOT/ブロックチェーン）（実践プログラム）
➡先端技術事業化論2（デジタル×メディカル/ヘルスケア）（実践プログラム）

◆おすすめ履修モデル

1）全学部生向け：おすすめ履修モデルは？
➡アントレプレナーシップ入門（入門プログラム）　➡アイデア創出・デザイン思考入門（入門プログラム）
➡事業創造・スタートアップ入門（入門プログラム）

2）工学部創成プロジェクトや情報データ科学部実社会課題解決プロジェクトに役立つ履修モデルは？
➡アイデア創出・デザイン思考入門（入門プログラム）　➡アントレプレナーシップ応用（応用プログラム）
➡アイデア創出・デザイン思考演習（応用プログラム）

3）医歯薬学総合研究科向け：おすすめ履修モデルは？
➡イノベーション論（基礎プログラム）　➡アントレプレナーシップ応用（応用プログラム）
➡アイデア創出・デザイン思考演習（応用プログラム）
➡先端技術事業化論2（デジタル×メディカル/ヘルスケア）（実践プログラム）

10.履修証明プログラムを受講するには？

社会人向け

◆社会人向け履修証明プログラム「FFGアントレプレナーシップ人材育成プログラム」を2021年6月より実施

FFGアントレプレナーシップセンターでは、アントレプレナーシップやベンチャー創出に関心を持つ社会人の方を対象として、2020年度から開講した社会人向け履修証明プログラム「FFGアントレプレナーシップ人材育成プログラム」を2021年度も実施いたします。

本プログラムは、社会人受講生の皆様が、アントレプレナーシップ（企業家精神）に関連した知識、スキル及びマインドセットを修得し、多面的な視野、視座、視点を持って社会課題を発見し、それらの課題を解決する新事業アイデアを創出して、地域に根差した新価値創造およびイノベーション創出を行い、地域経済の発展に貢献できるアントレプレナーを目指すための人材育成プログラムとなっています。

◆社会人向け履修証明プログラムとは

「履修証明プログラム」とは、主に社会人を対象として、人材育成の目的に応じた講習を、体系的に編成した学校教育法に基づく教育プログラムをいいます。本プログラムを受講し一定の要件を満たした受講者には、長崎大学から「履修証明書」が交付されます。なお、各科目を履修し修了要件を満たした場合、FFGアントレプレナーシップセンターより、各科目毎に受講完了証としてオープンバッジが授与され、履修証明書が交付された方にもオープンバッジが授与されます。

◆「FFGアントレプレナーシップ人材育成プログラム」の修了要件

「履修証明書」の交付を受けるためには、以下の要件を満たす必要があります。

基礎プログラム２科目を履修

①応用プログラム４科目の中から、少なくとも２科目を履修

②実践プログラム２科目の中から、少なくとも１科目を履修

③合計で５科目以上を履修し、各科目の修了要件を満たすことが要件となります。

なお、本プログラムは、８科目全ての履修を目指したプログラム構成となっておりますが、希望する科目を選択して履修することが可能です。なお、各科目を履修し修了要件を満たした場合、FFGアントレプレナーシップセンターより、各科目毎に受講完了証としてオープンバッジが授与され、履修証明書が交付された方にもオープンバッジが授与されます。

◆「FFGアントレプレナーシップ人材育成プログラム」の開講期間

本プログラムの開講期間は、2021年 6月～2022年１月になります。詳細スケジュールについては本冊子の9-10ページの科目一覧を参照してください。なお、最新情報については、NFECのWEBサイトに掲載いたします。

＜NFEC：WEBサイト＞ http://www.nfec.nagasaki-u.ac.jp/

◆「FFGアントレプレナーシップ人材育成プログラム」の授業概要

①本プログラムは、履修証明プログラムを構成する８つの科目（基礎科目２科目、応用科目４科目、実践科目２科目、計８科目）で構成されています。詳細については、9-10ページの科目一覧およびNFECのWEBサイトをご参照ください。

②授業は、主として平日夜間（17時50分～19時20分）または週末に行われますが、一部、平日夕方（16時10分～19時20分）に授業を実施する科目もありますのでご留意ください。

③開催場所は、原則として文教キャンパスですが、坂本キャンパスⅠで開催される場合もありますのでご留意ください。

④様々な理由で来校が難しい履修者に対応するため、Zoom等を活用したハイフレックス形式（対面授業とオンライン配信授業の併用）の授業を実施する科目もあります。授業の様子は原則として録画を行い、アーカイブを後日視聴できるように対応します。また、コロナ禍の状況に対応して、オンライン配信授業のみを実施する場合もありますので、ご留意ください。

◆「FFGアントレプレナーシップ人材育成プログラム」の募集要項



（１）募集人数　**30名**

（２）出願資格

①大学を卒業した方、大学卒業レベルの資格を有している方

②短大、高専卒業レベルの資格を有し、かつ社会人経験を2年以上有した方

（３）受講料

受講料は一律**12万円**を納めていただきます。

（４）申込手続

①応募書類

FFGアントレプレナーシップセンターWEBサイトからから「受講申込書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、受付期間までに、電子メールまたは郵送にて提出してください。

②提出方法

〈 Eメールの場合 〉 ffgentre@ml.nagasaki-u.ac.jp

件名を「〈社会人向け〉履修証明プログラム」とし、必要書類を添付して送信してください。

〈 郵 送 の 場 合 〉〒852-8521 長崎市文教町1-14 工学部2号館2階オープンラボ3

FFGアントレプレナーシップセンター宛

封筒の表に「〈社会人向け〉履修証明プログラム申込」と朱書きの上、必要書類を送付して下さい。

③受付期間

2021年3月1日～2021年5月7日（必着）

◆「FFGアントレプレナーシップ人材育成プログラム」の選考結果

応募書類に基づき選考を行い、受講者の決定を行います。結果については、合否に関わらず、受講申込書に記入いただいているメールアドレスへご連絡します。@nagasaki-u.ac.jpのメールが必ず受信できるよう設定しておいてください。その他、受講に必要な手続については別途メールにて連絡いたします。

◆オリエンテーションの開催

受講者全員を対象に事前のオリエンテーション（説明会）を行います。受講の準備やLACS（長崎大学の学習支援システム）の利用についてなど、受講に際しての説明をします。

５月下旬開催を予定していますが、コロナ禍の状況に応じて、リモート形式（Zoom）によるオリエンテーションになる場合があります。詳細は履修手続の際にお知らせします。

◆受講キャンセルについて

受講キャンセルは可能ですが、2021年6月の受講期間開始後には入金いただいた費用のご返金はいたしません。キャンセルされる場合は受講開始前にご連絡下さいますようお願い致します。

◆その他

「FFGアントレプレナーシップ人材育成プログラム」の履修に関してご質問、ご相談がある方は、NFECのWEBサイト、メールまたは電話にて、直接NFECにお問い合わせください。

◆NFECのWEBサイト

http://www.nfec.nagasaki-u.ac.jp

◆NFECのメールアドレス

ffgentre@ml.nagasaki-u.ac.jp

11.2020年度 受講生の声



長崎大学水産学部1年
小林 大瞬

この講座を受講しようと決意したきっかけは、3つあります。まず、単純に講座紹介の内容を読んでみて「面白そう！」と感じたからです。次に、社会人基礎力の中の1項目である、“課題解決力”を十分に養える講座だと思ったからです。最後に、私は0から 1 を創り出すことがとても苦手なのですが、この講座で学んだことを自分のものにできれば自分の弱点を克服できると感じたからです。
この講座を受けて、0から1を創り出す時の思考法を身につけることができ、アイデアを出す際に困ることが減りました。またこの講座ではグループディスカッションなどを通して他者と交流できる機会が多々あったので、他の人のアイデアにも頻繁に触れることができとても刺激的でした。
印象に残った講師の方は、「三宅泰世先生」です。この方の講義で、物事やアイデアを出すにあたり、どこに焦点を当てて考えるのか？という物事などを本質で捉える力を養うことができました。また、大変個性的な講師の方で、自分の言いたいことははっきりいう生き方には感銘を受けました。
大学在学中に何かを成したいという考えを持っている方は、この講座を受けて後悔することは絶対ありません。私が受講した時は、オンラインで講座が行われましたが、オンラインでも楽しんで受けることができた講座でした！



長崎大学
情報データ科学部1年
矢嶋 佳織

私は「将来は長崎に貢献したい」という強い気持ちがあったものの、どのように夢を叶えるべきかわからずにいました。そんな中、授業の内容が面白そうだった「アントレプレナー入門」と「アイデア創出・デザイン思考入門」の2科目を履修してみることにしました。
「アントレプレナー入門」のゲスト講師の皆さんの講演を聞いて、「今までの困難や成し遂げてきたことを自らの口でいきいきとお話する瞳が、とても美しい」と強く感じました。特に、それを強く感じたのが小松﨑友子先生の講演でした。小松﨑先生は様々な困難を乗り越えて、今は海外に向けて訪日観光のPRやマーケティングをしていらっしゃいます。観光のマーケティングに興味があった私にとって有意義で、人生のロールモデルとなる人が見つかり、今まで経験したことの無いような清々しい瞬間を感じました。
「逆境こそが未来をつくる！」という小松﨑先生の言葉は、講演を聞いた時も、今も私を支えてくれるとても大切な言葉です。オンラインでも声や瞳から熱意が伝わり、私たちの心をつかむアントレプレナーは「カッコイイ」という一言では表せません。
私は今、「アイデア創出・デザイン思考入門」のグループワークで知り合った先輩に誘われて、長崎県の学生サークル事業に関わっています。コロナウイルスが猛威をふるい、なかなか活動できず、もどかしかった時期を乗り越え、現在、幅広い活動に取り組めている原点に、FFGアントレプレナーシップセンターの授業があります。
受講した科目を通して、画面越しではありますが、ロールモデルや柔軟なアイデアを持つ長大生に出会えたことに感謝したいです。私は皆さんに、これから夢に向かって進んでいく勇気をもらえた、FFGアントレプレナーシップセンターの授業の履修を強くおすすめします。



長崎大学教育学部
小学校教育コース4年
田﨑 智憲

私が、講義を履修した理由は「不安を飼い慣らしたかったから」です。私は、この講義を履修するまで漠然とこれからの自分の将来やキャリアに不安がありました。その不安を飼い慣らすためには、アントレプレナーシップを獲得しビジネスについて学ぶことで自らが立つべき座標軸を確認し、どこへ向かうべきかの方向感覚を持つことが必要だと考えました。講義を履修して変わったことは、「将来、何になりたいですか？」と問われた時に、「わからない。」と答えられるようになったことです。それまでは、教育学部を卒業するのなら「教員にならなければならない」と考えていました。一つの何かになることが正解だと思っていました。しかし、講義を履修して、自分の将来の選択肢は無限にあることに気づき「やりたいことがなければ、自分で選択肢を増やせばよい。」というマインドを獲得しました。
特に印象に残っている講師の方は、「起業の科学 スタートアップサイエンス」を出版された田所雅之先生です。新型コロナウイルスの影響で直接お会いすることは叶いませんでしたが、周りからの評価や成績が良かろうが悪かろうが、とにかく自ら考えて「動く」ことが大切であると学びました。
次年度の受講生の皆さんは、講義を履修することで自分をよく見る良い機会になると思います。自分が本当にしたいことは何なのかを真剣に考えながら、長崎の地に学び、人に学ぶことで自分の内にも外にも輝く何かが発見できると思います。ぜひ、講義を通して自分自信の憧憬を見つけてください。私自身、今後もアントレプレナーシップを学びながら、日本の教育をアップデートできる人材になるべく挑戦し続けます。



長崎大学経済学部1年
田中 葵

この文を読もうと思ってくれた皆さんは、今、期待より不安の方が大きいのではないのでしょうか？私もそんな1年生でした。明るく楽しい大学生生活を夢見て入学したものの、コロナと自粛のせいで苦しい日々を送っていました。そんな中、毎週楽しみにしていたのがこの授業でした。最初はアントレプレナーとは何なのか、それすら分からずに受講していました。しかし毎回の素晴らしいゲストの方々は私たちに何かを成し遂げる楽しさと、何かに取り組む方法と勇気を教えてくれました。多種多様な事を成し遂げている講師の方々には、総じて「未来を開拓していく強さ」があったように思います。そんなパワフルで情熱的な15回の講義は、人生を諦め平凡で普通の人生を送ろうと思っていた私に、自分の好きなことを仕事にするという可能性をくれました。そのおかげで今、私は在学中にするとは思わなかったことを計画し実行に移れそうな段階に来ています。きっかけはこの授業と、私のほんの少しの勇気と沢山の人の協力でした。私は特別でもなんでもありません、私たちには無限の可能性が秘められています。ここまで読んでくれたそこのあなた、この授業を通してアントレプレナーについて学び、あなたの未来を少しだけより良いものにしてみませんか？



長崎大学工学部
工学研究科1年
藤原 裕也

この講座の目的の一つに、アントプレナーシップ人材の育成があります。アントプレナーシップという言葉を聞くと、「そもそも意味が分からない」、「起業するつもりはないんだけど」という感想をお持ちになる方がほとんどだと思います。私もその一人でした。では、なぜ私がこの講座を受講したのか。一つ目は、ビジネスや世の中の仕組みに興味があったこと、二つ目は、普段の大学の授業や研究活動だけでは得られない視点が得られると思ったからです。結果として私の想定を超えるものを得ることができたと思います。
本プログラムでは多彩な講師陣を招聘し、リアルなビジネスを手掛けてきた方々の実体験に基づく貴重なお話を聞くことができます。世に出ているサービスがどのように開発され事業化されたかといったお話を具体的な事例をもとにしてくださいます。私が特に印象に残った講師は、たべものCo./いきものCo.代表の菊池紳先生の講演です。講義では、菊池先生が手がけた農畜水産物の流通支援プラットフォームについてのお話をしてくださいました。普段私たちが何も考えずに口にしている食べ物の流通システムに課題感を持ち、生産者から消費者までの関わる全ての人が幸せになれるフードシステムを構築されています。冷静な口調の間から、誰も不幸にしないという熱い思いが伝わってくるお話は自分にとっても非常に刺激的でした。
また、一部の授業では、普段の授業と違い、学生だけでなく社会人履修生の方々とチームを組み、課題に取り組むことがあります。社会経験豊富な方々の出すアウトプットの質や視座の高さなどを目の当たりにしつつ、自身もいかにチーム内で貢献できるかを考えながら立ち回ることにより、課題解決に向けた多面的な視点や、恐れずに自分の意見を伝えるマインドセットを得ることができたと思います。
NFEC教育プログラムは、これから社会人になる学生にとって貴重な学びの場だと思います。得られるものは知識だけではなく、考え方や多面な視野、チャレンジするマインドセットなど多くのものが得られます。少しでも興味があれば、本プログラムを受講することをお勧めします。



第一印刷株式会社
専務取締役
川原 健司

30代も後半になると一通り仕事にも慣れてきて、新しい事を自発的に勉強する意識がどうしても低くなってしまいますし、私の場合は実家の印刷会社の事業承継者という立場もあり、今後第二創業や新規事業開発は避けて通れない道ですので、この履修証明プログラムの開講を知った時に「絶対に参加しよう！」と思い受講しました。
今回の講義を通して、様々なジャンルで活躍されている講師やスタートアップの方々からお話を聞く事ができ、日本のスタートアップの現状を垣間見た気がします。
履修前後で気づいたことは「スタートアップの起業家と、事業承継者とは目指すゴールが異なる」という部分です。企業の成長を目指すという過程は同じだと思いますが、何を目標とするか、またはビジョンに掲げるか？が企業にとっては重要な部分なのだと気づかされました。
一番印象に残った授業および講師ですが、これは間違いなくイノベーション論の松橋俊彦先生ですね。インタビューやチームの意見まとめなど、内容の濃い1ヶ月でしたが、これはできれば1年を通して同じチームでやりたかったですね。可能であれば、今回の一期生から有志を募って、この講義だけでもあと1年間継続できないかと思っているくらいです。
新型コロナウイルス感染症の影響で、オンライン講義の機会が多くなるかと思います。実際1期生はほぼオンライン受講となりました。しかし、事務局の皆様のご対応により、欠席した講義はアーカイブで視聴することができます。本プログラムでは、今をときめくスタートアップのファウンダーや、最先端の研究をされている先生方の貴重なお話を聞くことができます。土日連続で1日通しの講義もあり、大変なところもあるかも知れませんが、自身の将来を左右する何かを学ぶことができるプログラムだと思いますので、是非受講を検討してみてください！



一般社団法人
ナガサキベイデザインセンター
代表理事・長崎市議会議員
梅元 建治

自分自身、2010年に一般社団法人ナガサキベイデザインセンターを設立し、企業のブランディング、地域資源を活用した地域活性化、地域自主運営組織による持続可能なまちづくりなど、地域や組織の人材育成事業の支援を行ってきました。それでも自身の事業面における持続可能なビジネスモデルは未構築でした。これまでも勉強会等で、ロジャースのイノベーション普及論やデザイン思考の概念を理解したつもりでしたが、今回、長崎初の「FFGアントレプレナーシップ人材育成プログラム」に参加することで、さらに実践的なビジネスモデル構築とマーケッティングを論理的かつ体系的に学ぶ機会を頂きました。
仕事との掛け持ちで、授業やレポート提出は大丈夫かなど、当初は不安もありましたが、コロナ禍でも遠隔でのON LINE授業が展開され、受講生の皆さんと共通のワークシートを遠隔作成するなど、受講前には想像できなかった授業スタイル、さらに録画映像での振り返り補習などのきめ細かい個別のサポートを頂きました。加えて長崎大学が持つ事業の研究シーズや、普段でなかなか聞くことすらできない、各分野第一線の先生方からのスペシャルなご講義も盛り沢山で、何事にも代え難い非常に貴重な体験になりました。
ウィズ・アフターコロナを見据え、社会でも経済界でも新しい発想とDX技術を活用するベンチャーマインド、スモールビジネスを起点に地域や社会課題解決を目指すグローカルな視点を持ち合わせた事業化はもはや避けては通れません。そこでは叡智と技術、さらに投資による事業資金や人材が、場所性の概念を超えて集積します。東アジアに隣接する九州・長崎が選ばれるには、次世代型のアントレプレナーを持続的に育む環境をいかに創出できるか、そのためのコーディネーションがいかに重要かと改めて認識することが出来ました。
チャレンジングな本プログラムはご準備から運営面でも多くのご苦労があったとご拝察します。そのような中、最初の受講生の一人に加えて頂いたことに改めて感謝しています。未だ先を見通せない今、多くの実践者を交えた学ぶ機会が継続され、参加者のお一人おひとりが自己実現と社会貢献において、今後益々ご活躍されることを心からご祈念申し上げ、今回、経験した学びを糧に自分自身の実践をさらに進捗させなければと思いを新たにしています。

12.FFGインキュベーション プログラムとは？

FFG Incubation Program

FFGインキュベーションプログラム

長崎大学

国立大学法人 長崎大学 NAGASAKI UNIVERSITY NFEC

連携

FFG ふくおかフィナンシャルグループ

- 医・歯・薬学部／総合研究科
- 工学部／工学研究科
- 水産学部・環境科学部／総合研究科
- 熱帯医学・グローバル研究科
- 情報データ科学部※
- その他の学部・研究科・研究所・機構・センター

※2020年4月新設

技術シーズのご提供

★技術シーズの選定
★市場調査・特許調査の実施
★ビジネスモデル開発
★有望な技術シーズへの投資検討

〈支援例〉◎SCORE大学推進型への学内応募
◎STARTプログラムへの応募
◎九州・大学発ベンチャー振興会議からのGAP資金による支援

Project

大学発ベンチャーの創出へ

研究者にとってのメリット

★STARTプログラムや各種助成金への採択可能性が高まる。
★事業化を行うベンチャー経営チームの組成が促進される。
★研究シーズの市場調査・特許調査等を通じて、様々なフィードバックを得られる。

◎SCORE（社会還元加速プログラム）大学推進型：大学から生まれる優れた技術シーズの実用化を支援し、コロナ後の社会変革や社会課題解決に繋がる社会的インパクトの大きいスタートアップが持続的に創出される体制を構築することを目的とした、JST（科学技術振興機構）のプログラム。

※STARTプログラム（大学発新産業創出プログラム）：事業プロモーターと大学等の研究者をつなぎ、研究開発と事業育成を支援するJST（科学技術振興機構、のプログラム。

University-based Ventures

大学発ベンチャー創出の意義

- 大学の研究開発成果たる技術シーズに基づくベンチャー創出により、地域に新産業を興す基盤を作り、地域課題を解決して地域経済の発展に寄与。
- 大学において経営人材・アントレプレナー人材を育成することにより、ベンチャーの経営チーム構築に貢献。
- 大学からの技術シーズ・知的財産・技術的助言の提供により、大学発ベンチャーの成長を促進。
- 大学における研究開発資金の獲得およびベンチャーの成功による大学への資金還元。
- 地域全体のイノベーションエコシステムの醸成に貢献。

13.長崎オープンイノベーション拠点 ラウンジNOVEとは？

◆長崎オープンイノベーション拠点とは？

長崎オープンイノベーション拠点は、2020年7月、長崎大学、長崎県産業労働部及び公益社団法人長崎県産業振興財団により、長崎県の産業振興及び地域課題の解決を図ることを目的として締結された産学官連携に関する協定に基づいて設置された拠点です。長崎オープンイノベーション拠点を核として、長崎県の地方創生の実現と将来にわたる長崎県の持続的な発展を目指した活動が行われます。

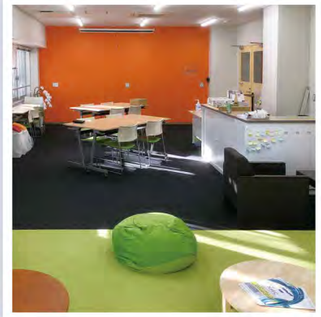
◆ラウンジNOVEとは？

ラウンジNOVEは、長崎オープンイノベーション拠点の一部として長崎大学内に開設されたスペースです。NOVEとは「Nagasaki Open Innovation & Venture Empowerment」の略称であるとともに、ラテン語で「新たに」という意味を持ちます。

◆ラウンジNOVEのビジョン

①ラウンジNOVEは、長崎大学の学生が自分自身の課題意識に基づいて問いを見出し、その問いの解決に向けて自発的に企画・発案したプロジェクト（学生プロジェクト）に取り組むことによって、多様な価値観を共有できる仲間と出会い、創造性を発揮して社会に新しい価値を生み出す実践の場を目指します。

②ラウンジNOVEは、学生同士のみならず、社会人（NOVEに訪問登録をした卒業生、教職員、行政、企業に属する社会人等）との交流を積極的に行うことにより、長崎におけるオープンイノベーションの発信地を目指します。



◆ラウンジNOVEの利用方法

学生プロジェクトに取り組む学生は、利用登録をすることにより、会議、セミナー、学生同士の交流・議論の場、学生プロジェクトに関わる社会人や教職員との交流・議論の場として、ラウンジNOVE を利用できます。ラウンジNOVEの利用を希望する方は、NFECまでメールまたは電話でお問い合わせください。

NFEC及びラウンジNOVEへのアクセス

Access Map

文教キャンパス Map



NFECへの問合せ・質問等はメールまたはWEBサイトを通じてご連絡ください。また、NFEC専任教員との面談を希望される方は、WEBサイトまたはメールを通じてアポイントを取ってからお越しください。

FFG アントレプレナーシップセンター
工学部2号館2F オープンラボ3（研究室）・1F オープンラボ1（ラウンジNOVE）

◆NFECのWEBサイト
http://www.nfec.nagasaki-u.ac.jp

◆NFECのメールアドレス
ffgentre@ml.nagasaki-u.ac.jp

［WEBサイト］ ［メールアドレス］

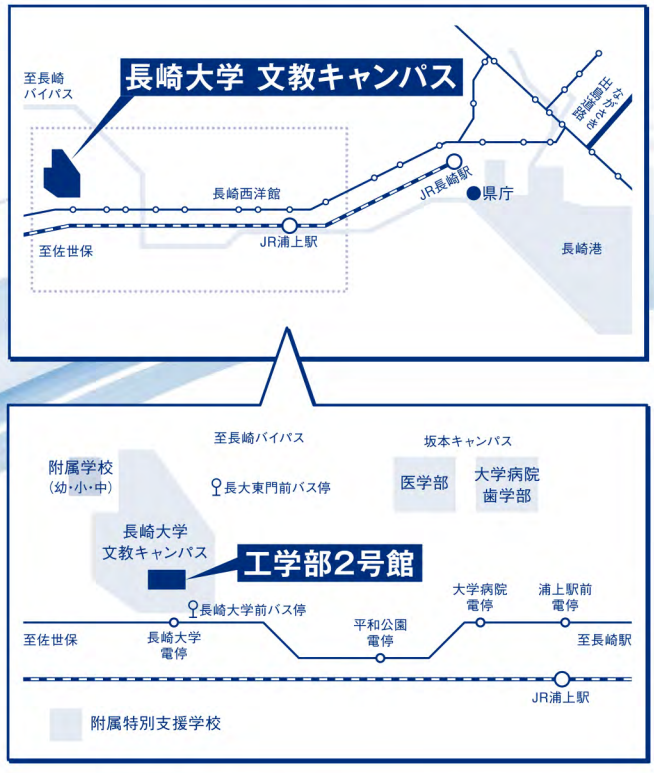
NFEC教育／人材育成プログラム受講に関する最新情報は、
QRコードからWEBサイトにアクセスして確認してください。
http://www.nfec.nagasaki-u.ac.jp

所　属

学籍番号

氏　名

How to Access



●JRをご利用の場合

JR長崎本線「浦上駅」下車、その後、以下の路面電車もしくはバス利用

●浦上駅から路面電車をご利用の場合

◎「浦上駅前」から「赤迫（あかさこ）」行き乗車
◎「長崎大学」で下車（所要時間／約10分）

●浦上駅からバスをご利用の場合

◎「浦上駅前」から「滑石（なめし）・時津（とぎつ）」等方面行き乗車、「長崎大学」で下車（所要時間／約10分）

●高速バスをご利用の場合

浦上経由長崎方面行きバス「昭和町（しょうわまち）」で下車し、徒歩で長崎大学東門まで約15分あるいは長崎大学正門まで約20分

●航空機をご利用の場合

長崎空港（大村市）から浦上経由長崎方面行き長崎県バス「長崎空港リムジン」で「長大東門前（ちょうだいひがしもんまえ）で下車（所要時間／約50分）し、徒歩で約3分

NFEC
国立大学法人長崎大学 研究開発推進機構
FFGアントレプレナーシップセンター

〒852-8521　長崎県長崎市文教町1-14 長崎大学文教キャンパス工学部2号館2F
オープンラボ3（研究室）・1F オープンラボ1（ラウンジNOVE）

TEL 095-800-4121（内線 4121）

お問合せ先　ffgentre@ml.nagasaki-u.ac.jp
お問合せ・ご相談につきましては、右記のQRコードからメールにてご連絡ください。